

公益社団法人 日本都市計画学会

関西支部 2021年度総会

議案書

2021年4月10日

公益社団法人 日本都市計画学会

議 事

1. 開会の辞

2. 支部長挨拶

3. 議案

(1) 第1号議案（2020年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動報告について）

報告事項1 2020年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部決算について

(2) 第2号議案（2021年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動方針について）

報告事項2 2021年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部予算について

(3) 第3号議案（2021年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員選出について）

4. 閉会の辞

目 次

【第 1 号議案資料】 2020 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動報告

- 1) 幹事会経過報告
- 2) 都市計画講演会ならびにシンポジウムの開催
- 3) 都市計画フィールドワークならびにワークショップの開催
- 4) 会計および会員管理について
- 5) 広報について
- 6) 支部研究助成について
- 7) 国際・交流活動について
- 8) 関西まちづくり賞について
- 9) 研究発表会の開催について
- 10) Web サイトの更新と情報発信について
- 11) 委員会への会員の公募参加について
- 12) 特別委員会「復興検証・知識継承特別委員会」の活動について
- 13) 特別委員会「関西支部 30 周年特別委員会」の活動について

【報告事項 1】 2020 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部決算について

【第 2 号議案資料】 2021 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動方針（案）

- 1) 主な事業の日程概要
- 2) 新たな計画課題にむけて多世代・多分野の協働と人材育成につながる支部活動について
- 3) 都市計画講演会及びシンポジウム・都市計画フィールドワークの開催
- 4) 広報について
- 5) 研究支援「都市計画研究会」について
- 6) 国際・交流活動の推進
- 7) 関西まちづくり賞について
- 8) 研究発表会について
- 9) 委員会への会員公募参加について
- 10) 特別委員会「関西支部 30 周年特別委員会」の活動について
- 11) 特別委員会「ライフスタイルが紡ぐまちのみらい研究会」の活動について

【報告事項 2】 2021 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部予算について

【第 3 号議案資料】 2021 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員選出について

- 【資料 1】 公益社団法人日本都市計画学会関西支部規程
- 【資料 2】 公益社団法人日本都市計画学会関西支部運営規則
- 【資料 3】 関西支部会員数
- 【資料 4】 関西支部予算（予算枠）の推移
- 【資料 5】 研究支援「都市計画研究会」の募集 応募要領（2021 年度）
- 【資料 6】 関西まちづくり賞表彰実績
- 【資料 7】 「第 19 回関西支部研究発表会」開催案内および発表の募集
- 【資料 8】 各種委員会委員の公募 募集要領
- 【資料 9】 関西支部役員および委員（2021 年 3 月 1 日現在）

【第1号議案資料】

2020年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動報告

1) 幹事会経過報告

開催日時		主な議事及び決定事項
第1回 2020. 6. 8	1. 2. 3. 4. 5.	支部長より本部理事会の報告 今年度の幹事会の開催日程、委員会体制・委員公募の確認、決定 各常置委員会の課題を提示し、コロナ渦を踏まえた活動の方向性について検討 委員公募及び各委員会の委員数について検討 次年度支部30周年記念式典について検討
第2回 2020. 7. 20	1. 2. 3. 4.	支部長より本部理事会の報告 各委員会委員の公募結果及び各委員会委員の検討、承認 「関西支部だより」WEB発行への移行について検討 支部研究発表会のオンライン開催について検討
第3回 2020. 10. 7	1. 2. 3. 4. 5. 6.	支部長より本部理事会の報告 研究支援の新規採択について検討および承認、HPの一部改変報告 次年度支部総会のオンライン実施について検討 「がもよん古民家再生プロジェクト」フィールドワーク実施報告 研究発表会（8/1、オンライン開催）の開催報告 復興検証・知識継承特別委員会シンポジウム開催報告
第4回 2020. 12. 18	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	支部長より本部理事会の結果報告 2020年度の予算執行状況の確認と2021年度事業予算の枠組みの検討 次年度支部総会のオンライン実施について検討 まちづくり賞表彰式、学生ワークショップ開催報告 国際都市計画セミナー開催報告 関西まちづくり賞の審査状況報告 関西支部30周年特別委員会の報告と意見交換
第5回 2021. 1. 29	1. 2. 3. 4. 5. 6.	支部長より本部理事会の報告 2020年度予算執行状況、決算スケジュールの確認 学生ワークショップ報告会（堺旧港：12/19）、シンポジウム（1/9）開催報告 関西まちづくり賞受賞者の検討 第19回研究発表会（2021年7月31日開催）論文募集案内の検討 関西支部30周年特別委員会の報告と意見交換
第6回 2021. 3. 4	1. 2. 3. 4. 5.	2020年度決算状況の確認及び2021年度予算の確定 次年度委員および公募についての検討 2021年度総会の開催・案内方法の検討 支部だより+35号の編集状況報告 関西支部30周年特別委員会の報告（式典開催概要）と意見交換

参考：【資料1・2】

2) 都市計画講演会ならびにシンポジウムの開催

<講演会>

テ ー マ：まちの価値向上を目指し 地域資産を活かし・つなぐ

開催日時：2020年12月5日（土）14:30～17:00

開催場所：関西大学梅田キャンパス 4階多目的室（オンライン併用）

講 演：丸順不動産株式会社 代表取締役小山隆輝 氏

内 容：人口減少や空き家対策が社会課題となっているなか、個別の空き家再生や不動産事業を超えて、まち全体の価値を向上する「エリアリノベーション」が取り組まれている。今回は、「上質な下町」をめざし、地域の暮らし目線でまちの価値向上を実践している大阪市阿倍野区昭和町周辺の取り組み事例に関する講演会を行った。この講演会は、関西まちづくり賞授賞式と同時開催し、関西まちづくり賞受賞団体にも事例をご紹介いただくとともに、パネル・ディスカッションを行い、地域資産を活かし・つなぐまちづくりについて議論を深めた。

参 加 者：49名（オンライン参加47名・会場参加者2名）※まち賞受賞者等含まず

<シンポジウム>

テ ー マ：SDGsと都市計画 関西での展開について

開催日時：2021年1月9日（土）14時～17時

開催場所：オンライン開催（大阪市立大学梅田サテライト文化交流ホールから配信）

内 容：2050年には7割の人口が都市に集中するという予測もあり、SDGsにある「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組む上で、都市計画の果たす役割は今後、益々重要になりつつある。そこで今回、SDGsに関わる現在の都市計画分野における課題の共有とともに、将来の都市像や目標像のあり方、その実現に向けた取り組みについて、この分野における専門家から話題提供をいただき、都市計画分野の最前線で活動されているパネリストをお招きし、今後の都市計画の果たす役割や方向性について議論した。

基調講演：「今後の都市計画の方向性」

東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授浅見泰司 氏

パネリスト：浅見泰司 氏 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授

川田 均 氏 日本都市計画学会関西支部 支部長

矢谷明也 氏 舞鶴市 建設部長

塚本貴昭 氏 都市再生機構西日本支社 副支社長

参 加 者：82人（全員オンライン参加）

3) 都市計画フィールドワークならびにワークショップの開催

<フィールドワーク>

テ ー マ：古民家再生にぎわいのまち がもよんウォーク

日 時：2020年8月22日（土）15：00～18：00

対象地区：大阪市城東区蒲生4丁目

内 容：大阪市城東区蒲生4丁目（がもよん）は、全国でも屈指の住宅密集地で戦前からの古い建物が多く残る地域であるが、これらの古民家をリノベーションして新しい入居者に店舗等として貸し出すことにより、にぎわいの創出と魅力的な街並み形成に成功している。そこで、この「がもよんにぎわいプロジェクト」を手掛ける和田代表から概要をお聞きするとともに、再生物件を中心に現地を案内していただき、飲食店による古民家再生を持続・発展されている秘訣や、更なるまちの魅力づくりに向けた取り組みについての理解を深めた。

講 演：講演「がもよんの地域活動事例」

一般社団法人 がもよんにぎわいプロジェクト

代表理事 和田欣也氏

参 加 者：15名（内、学生8名・学会員5名）

<ワークショップ>

テ ー マ：堺旧港周辺のまちづくりを考える

日 時：1日目：2020年10月21日（水）19：00～20：30

2日目：2020年12月19日（土）14：00～17：30

場 所：1日目：大阪市立大学梅田サテライト文化交流大ホール

2日目：オンライン開催

内 容：「堺グランドデザイン 2040」に位置付けられ、中世以降、海外貿易港として発展した堺旧港（堺市堺区戎島町5丁目付近）と一体となった水辺の公共用地について、活用に向けた検討が進められている「堺旧港周辺」を題材にとりあげ、2日間にわたり、学生のみなさんを対象としたワークショップを開催した。ワークショップでは、大阪府ならびに堺市の担当者から現在の検討状況等について講演を受けたのち、6班にわかれ、堺旧港の親水護岸に面した公有地について、土地利用転換の案を検討し、提案を競った。

参 加 者：30人（全て学生）

4) 会計および会員管理について

2021年度予算案の作成、ならびに2020年度の決算書の作成を行った。

5) 広報について

1. 支部だよりの発行

「日本都市計画学会関西支部だより」No. 35 を WEB 発行し、メーリングリストにより会員へ周知した。前号 (No. 34) までは約 800 部の紙版の発行・郵送を行っていたが、同号から WEB 発行へと移行し、紙版の発行は行わず、メールアドレス登録のない支部会員へは案内を発送した (加えてメールアドレスの登録を依頼した)。特集のテーマは「コロナ以後の新しいエコシステム」とし、インタビュー記事の公開や、論考の執筆依頼を行った。

□特集

「これからの地方・農村の可能性」(鼎談): 佐久間康富 (和歌山大学) × 山崎義人 (東洋大学) × 嵩和雄 (NPO 法人ふるさと回帰支援センター 副事務局長)

「不動産プランニングの可能性」: 岸本千佳 (アッドスパイス代表)

「自分らしいライフスタイルを実現できる居住地としての郊外へ」: 福本優 (兵庫県立人と自然の博物館)

「場所をつくる - ソーシャル・デベロップメントの可能性」: 村上豪英 (株式会社村上工務店代表取締役、神戸モトマチ大学代表)

「都市のスマート化の現在と未来」: 東博暢 (日本総研)

「オーバーツーリズム問題を考える」: 阿部大輔 (龍谷大学)

2. 本部学会誌「都市計画」に関する企画編集

本部学会誌「都市計画」においては、関西支部の活動報告、都市計画情報の掲載ページ (支部 Topics) に関する企画編集と執筆依頼を行った。

344 号「多様な連携が織り成すサステナビリティー2019 年度関西まちづくり賞」

: 牧紀男 (関西支部関西まちづくり賞委員会委員長/京都大学)

345 号「阪神高速 6 号大和川線の全線開通」

: 北澤俊彦 (阪神高速道路株式会社)

346 号「がもよんにぎわいプロジェクトの取り組み」

: 和田 欣也 (一般社団法人がもよんにぎわいプロジェクト)

347 号「大手前通りエリア魅力向上推進事業の取り組み」

: 杉野淳一 (姫路市産業局商工労働部)

348 号「四季の郷公園の魅力がもたらす山東地区の活性化」

: 中居一樹 (和歌山市産業交流局農林水産部)

349 号「京都市の学校跡地活用 - 民間活用による校舎の保存・再生と文化芸術によるまちづくりの事例」: 京都市 行財政局資産活用推進室

6) 支部研究助成について

1. 研究助成報告会の実施

関西支部ウェブサイトにて、2019年度研究助成(最終報告2件、中間報告2件)の報告を行った。

2. 研究助成の実施

支部研究助成3件を実施した。

継続(1) 「市民の自由な活動の場としての公園マネジメント研究会」 代表：福本 優

継続(2) 「簡易宿所型ジェントリフィケーション研究会」 代表：加登 遼

新規(1) 「豪雨災害と居住地再生研究会」 代表：田中 正人

7) 国際・交流活動について

1. 委員会の開催記録

(1) 2020年9月7日(月)、2020年11月11日(水)

コロナ禍であることを踏まえつつ、2020年度の活動内容を検討し、留学生、都市計画・まちづくりを仕事とする社会人、都市計画・まちづくり分野への就職を考える学生に対して、オンラインによるセミナーを開催することを決定した。

2. 活動内容

(1) 国際都市計画セミナー：「海外からみたWith/Post コロナ時代の新たなまちづくり・都市計画と仕事」

日 時：2020年11月21日(土) 12:00~14:00

会 場：Zoomによるオンライン

参加者：29名(社会人、大学院生、学部生等)

内 容：メリーランド大学カレッジパーク校准教授の井関博之氏と立命館大学政策科学部准教授(UCLA Lewis Center for Regional Studies 客員研究員)の式王美子氏の2名の講師をお招きし、主に学生を対象にした国際都市計画セミナーをオンラインで開催した。日本に滞在中の井関氏からは「BLM(Black Lives Matter)がアメリカの都市計画分野にもたらしている動き」について、次いで、ロサンゼルスに滞在中の式氏からは「アメリカ大都市の地域格差と居住問題—移民都市ロサンゼルスの大学での研究生生活」について講演を頂き、米国の都市計画の考え方やコロナ禍での最近の動きなど、参加者も交えた質疑応答と活発な意見交換を行った。

8) 関西まちづくり賞について

1. 委員会等の開催記録

- ・第1回委員会(2020年4月14日) 2020年度募集要領の検討等
募集期間(2020年6月10日～8月28日)
- ・第2回委員会(2020年9月16日) 選考方法の検討、現地調査・質問事項の検討
- ・現地調査(2020年10月30日) 応募案件の現地調査(1件)
- ・現地調査(2020年11月8日) 応募案件の現地調査(1件)
- ・現地調査(2020年11月15日) 応募案件の現地調査(2件)
- ・現地調査(2020年11月20日) 応募案件の現地調査(1件)
- ・第3回委員会(2021年1月13日) 現地調査の総括、受賞対象者の選考
- ・第4回委員会(2021年3月17日) 表彰式、プレゼンテーションの段取り

2. 2020年度関西まちづくり賞 表彰式

2020年12月5日(土) 企画委員会との共催 於) 関西大学 梅田キャンパス

成果・実績の名称:

『成逸学区「顔の見える安心感のある、ここちよいまち」を目指して』

受賞者: 成逸住民福祉協議会, 京都市立北総合支援学校, 京・まち・ねっと 石本幸良

『近江八景と東海道でつながる大津市と草津市の広域景観連携』

受賞者: びわこ大津草津景観推進協議会, 公益社団法人滋賀県建築士会(同大津地区委員会・湖南地区委員会), 谷 祐治(大津市議会議員)

『大阪の下町、古民家利活用から発展したまちづくり事例』

受賞者: 一般社団法人がもよんにぎわいプロジェクト

9) 研究発表会の開催について

2020年8月1日(土)、オンラインにて、第18回研究発表会を開催した。大学・行政・企業の若手研究者を中心とした21編の研究発表があり、81名の参加者を得て活発な質疑・討論が行われた。

発表会で選定している奨励賞には、以下の4名の方が選ばれた。

- (1) 地域再生におけるエディブル・ランドスケープの役割とその可能性
藤原 優美子さん(玉野総合コンサルタント株式会社)
- (2) 京都市における簡易宿所の立地変容に関する研究 ―地価への影響と廃業に着目して―
川井 千敬さん(龍谷大学大学院政策学研究科)
- (3) 尼崎市における子ども広場の設置方針の特徴
内海 ありささん(龍谷大学大学院政策学研究科)
- (4) ビッグデータを用いたエリアの特質把握と回遊性創出への展開について―大阪・ミナミ御堂筋を題材に―
稲垣 和哉さん(株式会社地域計画建築研究所)

10) Web サイトの更新と情報発信について

サーバーにおける全体的な Web 管理を行い、委員会ごとに Web ページやメーリングリストの運用を行った。

11) 委員会への会員の公募参加について

2020 年度は、委員会委員に欠員が生じなかったため、各種委員会委員の公募は行わない旨、Web にて周知した。

12) 特別委員会「復興検証・知識継承特別委員会」の活動について

阪神・淡路大震災から 25 年を契機として設置された「大規模災害からの都市復興の再検証と知識の継承専門委員会（通称：復興検証・知識継承特別委員会）」の今年度の活動は、昨年度延期となった公開シンポジウムについて 9 月に実施した。また合計 3 年間の成果について、知識資料として継承することを目標として WEB 型の情報資料として整理した。

13) 特別委員会「関西支部 30 周年特別委員会」の活動について

「関西支部 30 周年特別委員会」を新たに組織し、関西支部 30 周年記念事業の検討を行った。

過去 10 年間の関西都市計画について、「市街地整備」、「基盤整備」「公園緑地」の 3 つの分野から振り返り、この 10 年間の歩みについて検討するとともに、関西まちづくり賞の受賞作品について評価の視点からその特徴と変遷を検討し、これらを掲載する記念出版についての検討を行った。

加えて、都市計画の将来展望について、若手を中心としたメンバーで検討を進めた。

以上の内容について、2021 年 10 月 23 日に記念フォーラムを開催することとし、その内容や運営の方法について検討した。

【報告事項1】

2020年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部決算について

令和2年度収支決算書 関西支部

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

大科目	中科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(a)-(b)	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
① 事業収入		230,000	165,000	65,000	
	講習会収入	30,000	19,000	11,000	
	発表会参加費収入	200,000	146,000	54,000	
② 寄付金収入	寄付金収入	0	0	0	
③ 雑収入		10,000	2,299	7,701	
	受取利息収入	0	0	0	
	雑収入	10,000	2,299	7,701	書籍印税
事業活動収入計		240,000	167,299	72,701	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		2,572,000	2,080,525	491,475	
	臨時雇賃金支出	120,000	107,340	12,660	
	会議費支出	10,000	0	10,000	
	旅費交通費支出	266,000	82,472	183,528	
	通信運搬費支出	99,000	26,194	72,806	
	消耗品費支出	26,000	64,729	△ 38,729	
	印刷製本費支出	80,000	0	80,000	
	コンピュータ費支出	71,000	109,372	△ 38,372	
	賃借料支出	244,000	31,000	213,000	
	保険料支出	0	0	0	
	諸謝金支出	320,000	267,611	52,389	
	助成金支出	400,000	260,746	139,254	
	委託費支出	880,000	1,083,761	△ 203,761	
	表彰費支出	36,000	46,200	△ 10,200	
	雑費支出	20,000	1,100	18,900	
② 管理費支出		78,000	12,194	65,806	
	旅費交通費支出	0	3,374	△ 3,374	
	通信運搬費支出	10,000	8,820	1,180	
	消耗品費支出	4,000	0	4,000	
	印刷製本費支出	35,000	0	35,000	
	賃借料支出	29,000	0	29,000	
	委託費支出	0	0	0	
事業活動支出計		2,650,000	2,092,719	557,281	
事業活動収支差額		△ 2,410,000	△ 1,925,420	△ 484,580	
3. 特定費用準備支出					
	支部30周年記念事業	150,000	450,000	△ 300,000	H28年度～R2年度計90万円
総支出計		2,800,000	2,542,719	257,281	
事業活動収支差額		△ 2,560,000	△ 2,375,420	△ 184,580	

【第2号議案資料】

2021年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動方針（案）

1) 主な事業の日程概要

2021年度活動予定表

4～6月	○関西支部総会（4月10日） ○研究支援の募集・締切（総） ○研究発表の募集・締切（研）	○都市計画講演会（企）
7～9月	○研究発表会の開催（研） ○海外都市計画交流会（国） ○関西まちづくり賞募集・締切（ま）	○都市計画フィールドワーク （第1回）（企） ○都市計画シンポジウム（企）
10～12月	○関西支部30周年記念式典 ○学生のための仕事場訪問（国） ○留学生、非会員向け見学会（国） ○関西まちづくり賞現地調査（ま）	○都市計画フィールドワーク （第2回）（企） ○都市計画ワークショップ（企） ○支部だよりの発行（編）
1～3月	○関西まちづくり賞選考（ま）	○支部だよりの発行（編）

委員会名称：（総）総務委員会、（企）企画委員会、（編）編集・広報委員会、
（ま）関西まちづくり賞委員会、（研）研究発表委員会、（国）国際・交流委員会

2) 新たな計画課題にむけて多世代・多分野の協働と人材育成につながる支部活動について

支部活動は、会員、賛助会員へのサービスのみならず、多様な地域課題に対して専門的な貢献を果たすために、さらなる活動の活性化、次世代の裾野の拡大を図る必要がある。そのため、以下の実現に努める。

- (1) 関西支部のこれまでの蓄積と成果を踏まえ、出身とする専門分野や関西における主な活動の場の相違、あるいは産官学といった垣根を越えた業際・学際的な人的ネットワークの充実および研究・実践における協働を図る。特に、これからの関西の都市計画分野を支える人材の発掘と育成支援を積極的に行う。
- (2) 支部活動の広報・連絡活動のインフラとしての Web システムのより効率的な運用を通じて、会員はもとより全国に向け関西における都市計画・まちづくりの取り組みを積極的に発信していく。
- (3) 都市計画分野の継続教育（CPD 活動）に資するプログラム（都市計画講演会及びシンポジウム、都市計画フィールドワーク、研究発表会等）をさらに充実して実施する。
- (4) 支部活動の基本である各委員会の運営に関し、若手・中堅層を中心に広く会員の参加を得て活性化を図る。そのために委員公募を積極的に検討する。
- (5) 支部会員数の減少傾向に鑑み、オンラインの活用等も含め関西広く社会ニーズに対応した行事の企画・運営や会員サービスを充実し、学生ならびに自治体・コンサルタント等の都市計画・まちづくり担当者の当学会への関心を高めて、会員増強につなげる。

(6) 関連する学協会・業界団体等との関係を深め、イベントの共催・後援などを通じて多様な人材の交流と学習の場を提供する。それらの活動から実践と学術的知見をつなぎ、都市まちづくり分野での産官学のプラットフォームの形成を試行する。

3) 都市計画講演会及びシンポジウム・都市計画フィールドワークの開催

人口減少下での持続可能な都市・地域づくりが求められるなか、都市・地域計画に求められる課題や役割が変化している。社会経済の変動を背景に計画分野の新たな動向をとらえ、多様な分野の人が集まり多角的に考える機会を提供する都市計画講演会・シンポジウムならびにフィールドワークを企画・開催する。

これまでも先進的に独自の発想にもとづき展開してきた関西の都市づくりについて知見を深め、地域の環境形成に寄与する情報交流の場となるよう、計画技術の継承発展にとどまらず、計画に関わるテーマについて社会的・経済的・文化的観点から広く取り上げていく。都市づくりの担い手と出会う、現場で意見交換するなど、参加することの魅力を高める工夫とともに、会員の関心を広げていくことをめざすとともに、昨年度に引き続き、今年度も学生等幅広い方々の参加を求め、学会への関心を高めるようなフィールドワークやワークショップを開催する。

4) 広報について

「日本都市計画学会関西支部だより」のWEB発行を通じて、関西を中心とする都市計画・まちづくりに関する論説、話題、事業の紹介等を行う。WEB化にともない、記事発行は年間を通して行うこととし、2021年9月までは「日本都市計画学会関西支部だより」No. 35の記事掲載を継続し、11月よりNo. 36(新号)の記事掲載を開始する。また、2020年度の活動を引き継ぎ、編集・広報委員による取材企画や会員による論考の発表企画、各支部の活動紹介などを進め、広報活動のさらなる充実を図る。

また、本部学会誌「都市計画」に毎号掲載される支部トピックスの企画編集を行い、関西のまちづくりや都市計画に関する情報を全国に発信する。

5) 研究支援「都市計画研究会」について

2020年度から継続する研究支援「都市計画研究会」の1件の支援に加えて、「都市計画研究会活動支援に関する要綱」に従い、新規3件(内2件は若手に限定)の支援を行う。

参考：【資料5】

6) 国際・交流活動の推進

都市計画に関心を持つ学生と社会人とが交流し情報交換を持つ場として「都市計画・アーバンデザインの仕事をたずねる」や留学生を対象とする「関西のプロジェクト見学会」を実施する。また、近年、海外の都市計画の実務経験を有する人が増えており、その方々の経験を共有する場として、まちづくり・都市計画実務者向けの「海外都市計画セミナー」を開催する。コロナ禍においては、オンラインも上手に活用しながら、以上の3つの活動を日常的かつ継続的に行うことで、都市計画専門家、学生及び留学生、社会人等との人的ネットワーク形成を推進し、新規会員の獲得へつなげる。さらに、このような国際交流の流れがアジア等諸都市への都市計画交流会といった展開になっていくことを目指す。

7) 関西まちづくり賞について

関西で実施された地域まちづくり活動や空間整備又は制度づくりや計画策定で、優れた成果・実績・効果があるものについて、広く募集・推薦を求め、関西まちづくり賞の表彰を行う。

そのため、関西まちづくり賞の趣旨をわかりやすく発信し、できるだけ多くの応募・推薦を集める努力を行う。

賞の選考に当たっては、応募者ヒアリングや現地調査を実施し、十分に議論する等、公正な審査を行う。選考された地域まちづくり活動等は、関西における優れた成果・実績・効果であるとして表彰するとともに、その内容や評価したポイント等を情報発信する。

参考【資料6】

8) 研究発表会について

2021年度第19回関西支部研究発表会を、7月31日(土)大阪市立大学文化交流センター(大阪駅前第2ビル6階)にて開催する(新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン開催とする場合もある)。投稿および発表会への参加については、大学等の教育研究機関関係者だけではなく、広く、行政関係者・民間企業・コンサルタント関係者等、都市計画の第一線で活躍されている方々の参加を歓迎する。

なお、今年度の投稿申込締切は、5月26日(水)、原稿提出締切は6月23日(水)としている。応募方法や原稿執筆要領等の詳細は、支部ホームページに掲載している。

参考：【資料7】

9) 委員会への会員公募参加について

各種委員会の委員を公募する。

参考：【資料8】

10) 特別委員会「関西支部 30 周年特別委員会」の活動について

関西支部 30 周年記念事業として、この 10 年間の支部活動の歩みと関西の都市計画についての出版事業を実施するとともに、10 月 23 日（土）に記念フォーラムを実施する。

11) 特別委員会「ライフスタイルが紡ぐまちのみらい研究会」の活動について

コロナ以後、2040 年代の関西を想定し、将来の新しい生活様式に対応した空間計画や土地利用のあり方、居住地選択の多様化にともなう広域の地域再編の可能性など、これからの都市計画を考えるための視点や方法について検討を行い、今後の都市戦略を展望するための調査研究・活動報告会を実施する。10 月 23 日（土）の関西支部 30 周年記念フォーラム時に、活動内容の中間報告を行う。

【報告事項2】

2021年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部予算について

令和3年度日本都市計画学会関西支部 収支予算書:本部様式

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

大科目	中科目	令和3年度 予算額(a)	令和2年度 予算額(b)	差異(a)-(b)	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
① 事業収入		180,000	230,000	△ 50,000	
	講習会収入	30,000	30,000	0	
	発表会参加費収入	150,000	200,000	△ 50,000	
② 寄付金収入	寄付金収入	0	0	0	
③ 雑収入	雑収入	0	10,000	△ 10,000	
		0	10,000	△ 10,000	書籍印税
事業活動収入計		180,000	240,000	△ 60,000	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		3,406,000	2,572,000	834,000	
	臨時雇賃金支出	120,000	120,000	0	
	会議費支出	10,000	10,000	0	
	旅費交通費支出	607,000	266,000	341,000	
	通信運搬費支出	41,000	99,000	△ 58,000	
	消耗品費支出	6,000	26,000	△ 20,000	
	印刷製本費支出	420,000	80,000	340,000	
	コンピュータ費支出	162,000	71,000	91,000	
	賃借料支出	454,000	244,000	210,000	
	諸謝金支出	450,000	320,000	130,000	
	助成金支出	400,000	400,000	0	
	委託費支出	680,000	880,000	△ 200,000	
	表彰費支出	36,000	36,000	0	
	雑費支出	20,000	20,000	0	
② 管理費支出		234,000	78,000	156,000	
	旅費交通費支出	0	0	0	
	通信運搬費支出	40,000	10,000	30,000	
	消耗品費支出	10,000	4,000	6,000	
	印刷製本費支出	35,000	35,000	0	
	賃借料支出	149,000	29,000	120,000	
	委託費支出	0	0	0	
事業活動支出計		3,640,000	2,650,000	990,000	
事業活動収支差額		△ 3,460,000	△ 2,410,000	△ 1,050,000	
3. 特定費用準備支出					
	支部30周年記念事業	0	150,000	△ 150,000	
総支出計		3,640,000	2,800,000	840,000	
総収支差額		△ 3,460,000	△ 2,560,000	△ 900,000	

【第3号議案資料】

2021年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員選出について

委員会	担当	所属
支部長	川田 均	南海電気鉄道
副支部長	嘉名 光市	大阪市立大学
〃	岡 絵理子	関西大学
〃	中塚 一	地域計画建築研究所
総務委員長	三崎 信顕	大阪府
〃 副委員長 (総務担当)	紅谷 昇平	兵庫県立大学
〃 副委員長 (会計担当)	松崎 富士子	大阪市
関西まちづくり賞委員長	澤田 雅浩	兵庫県立大学
〃 副委員長	酒本 恭聖	川西市
〃 副委員長	中野 茂夫	大阪市立大学
企画委員長	吉田 長裕	大阪市立大学
〃 副委員長	西江 誠	大阪市
〃 副委員長	笹井 浩	総合調査設計
国際・交流委員長	大庭 哲治	京都大学
〃 副委員長	栗山 尚子	神戸大学
編集・広報委員長	山口 敬太	京都大学
〃 副委員長	泉 英明	ハートビートプラン
研究発表委員長	川口 将武	大阪産業大学
〃 副委員長	徳勢 貴彦	スペースビジョン研究所
関西支部30周年特別委員会 委員長	小浦 久子	神戸芸術工科大学
〃 副委員長	田中 みさ子	大阪産業大学
〃 副委員長	武田 重昭	大阪府立大学
〃 副委員長	佐久間 康富	和歌山大学
ライフスタイルが紡ぐまちのみらい研究会 委員長	山口 敬太	京都大学
〃 副委員長	松本 邦彦	大阪大学
〃 副委員長	野村 はな	ヘッズ